

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻 修士課程 】
試験科目 【 専門試験 メディア研究一般 】

## 【出題意図】

記事の内容を理解し、自らの考えを論理的に説明する力をはかる。

問：下記の記事を読み、設問①と②に答えなさい。

就職活動中の大学生らの4割が、生成AI（人工知能）の普及を見越して志望職種を変えたことが、日本経済新聞の調査で分かった。生産性向上などAIがもたらすプラスの面を評価しつつも、雇用の一部は失われるとみて、仕事を選ぶ重要な要素に位置づけた。企業はAIを使う側に立つビジョンを示せるかどうか問われる。

調査は就職情報サイト「みん就」に依頼して10月21日～11月4日に実施した。現在就活をしている2027年卒予定の大学3年生と修士課程1年生の合計1116人がインターネットを通じて答えた。

AIの普及で雇用はどう変わると言うかを聞いたところ、「減少」が6割超で「あまり変わらない」が約3割だった。AIは新たなサービスの創出などを通じて雇用を増やす面もあるとみられているが、今回の回答で「増加」は5%ほどにとどまった。

就職活動への影響では42%が志望業界、38%が志望職種を変えたと答えた。マーケティング職を検討していた慶応大学のある女子学生は「AIを使いこなす側にならないといけない」との考えからIT（情報技術）エンジニアを目指すことにしたという。

アンケートではAIの使用頻度も聞いた。毎日使う学生ほど「雇用が減る」とみる割合や、志望職種を変えた割合が大きい。AIのインパクトを体感することで社会全体に与える影響も大きいと判断している可能性がある。

AI自体を否定的にみているわけではない。生活やキャリアにどう関係するかについては「ある程度良い影響をもたらす」が55%、「非常に良い影響」が19%と肯定的な受け止めが目立つ。

AIの普及で雇用が減ると思う職種を複数回答で聞いたところ、最も多かったのは「カスタマーサポート」で12.0%が挙げた。コールセンターなど比較的、定型作業が多い仕事だ。「事務・総務・秘書・受付」が10.7%、「システムエンジニア・プログラマー」が7.2%で続いた。

4位以下もオフィス業務支援などを行うホワイトカラー職種が目立つ。これらは世界経済フォーラムがまとめたレポートで、AIや自動化により雇用が減るとした職種に重なる。

一方、AIの影響を受けないと思う職種は「経営者・管理職」が7.6%強で最多だった。「医師・薬剤師・看護師」がほぼ同水準の7.6%、「営業職」も6.4%と多かった。ソーシャルワーカー・介護士を目指す札幌医科大学の女子学生は「医療系など人と直接関わる仕事はAIによる介入は難しい」とみている。

（『日本経済新聞』2025年11月23日「〈労働臨界〉AI失業、就活生も警戒」より引用、一部改変）

設問① 下線部「就職活動中の大学生らの4割が、生成AI（人工知能）の普及を見越して志望職種を変えたことが、日本経済新聞の調査で分かった」とあるが、本記事の内容を読み、どのような職種に変えたのか。また、その理由を説明しなさい。

# 2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

設問② 本記事を読み、大学教育と企業の人材戦略は、AI 時代に広がる雇用不安にどのように対応すべきかを論じなさい。

【問題番号等】	【解答 または 解答例・評価のポイント】
【問 1】	AI の是非を問うものではなく、AI 普及による社会構造の変容とその影響が論理的に説明されていること。
【問 2】	大学教育の転換、企業側の論理を理解し、具体的に説明されていること。

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻

【グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻 修士課程】

試験科目

【 外国語試験 英語 】

## 【出題意図】

英文を理解し、日本語で要約出来、かつ、英語で自らの考えを論理的に説明する力をはかる。

この試験では、英文に関する2つの Question (Question I.～ Question II.)に答えていただきます。

問題指示文をよく読み、すべて解答してください。

*Read the following passage.*

[Adapted from: “Spread of sexual deepfake images created by generative AI growing in Japan” by Yuki Machino, The Mainichi, May 29, 2025. <https://mainichi.jp/english/articles/20250529/p2a/00m/0na/027000c> ]

# 2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

## Question I.

問題文は、何についての記事ですか？日本語で要約してください。なお要約には、

- ① 子どもや女性を標的とした、どのような行為が横行しているか、
- ② そのような現象の（技術面での）一因として、どのようなものがあるか、  
の情報を含むようにしてください。

### ●解答に求められる要素・評価のポイント

- ①生成 AI を悪用して、実在する子どもや成人女性などを性的に加工した画像や動画「性的ディープフェイク」を作成する行為が横行している、
- ②そのような現象の一因として、生成 AI を使用して簡単にディープフェイクを作成できるアプリやサイトが出現したことが挙げられる等が記載されていれば OK。

## Question II.

もしあなたが、地元の小学校の校長先生だったなら、児童達をこのような被害から守るために、学校としてどのような対策を講じますか？英語で説明してください。

### ●解答に求められる要素・評価のポイント

児童たちを守るための対策を、論理的に英語で説明できていれば OK。

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻 修士課程 】
試験科目 【 メディア研究一般（小論文）（社会人特別） 】

## 【出題意図】

記事の内容を理解し、自らの考えを論理的に説明する力をはかる。

問：下記の記事を読み、AI時代に広がる雇用不安について、社会人としての経験を踏まえて、主として日本の大学教育と企業の人材戦略はどのように対応すべきかを論じなさい。

（『日本経済新聞』2025年11月23日「〈労働臨界〉AI失業、就活生も警戒」より引用、一部改変）

# 2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

【問題番号等】	【解答 または 解答例・評価のポイント】
【問】	AI 時代の雇用変化という構造的課題に対して、社会人としての経験知と理論的視点を統合して論じる力をはかる。

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻
【 グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻 修士課程 】
試験科目
【 専門試験 メディア研究一般（外国人留学生） 】

## 【出題意図】

記事の内容を理解し、自らの考えを論理的に説明する力をはかる。

問：下記の記事を読み、AI時代に広がる雇用不安について、日本とあなたの出身国の状況を比較したうえで、主として日本の大学教育と企業の人材戦略はどのように対応すべきかを論じなさい。

（『日本経済新聞』2025年11月23日「〈労働臨界〉AI失業、就活生も警戒」より引用、一部改変）

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

【問題番号等】	【解答 または 解答例・評価のポイント】
【問】	AI時代の雇用変化という構造的課題に対して、日本と受験者の出身国の状況の比較を通して、その経験知と理論的視点を統合して論じる力をはかる。